

エネルギー技術対策委員会
アドバンスト・バッテリー技術研究会
2026年度 活動計画書

2026年4月

一般財団法人 大阪科学技術センター

1. 趣 旨

エネルギー問題の解決のためには新・省エネルギー技術の開発が必要不可欠であり、特に中長期的な観点からカーボンニュートラル対策及び電力負荷の平準化を目的に、電気自動車用及び電力貯蔵システム用として新型二次電池（アドバンスト・バッテリー）の研究開発が強く望まれてきた。

大阪科学技術センターでは、1992年10月に「アドバンスト・バッテリー技術研究会」を設置し、産学官の新型二次電池に関心をもつ研究者・技術者相互の連携を深め、新型二次電池に関する学術ならびに技術の進歩向上に資する諸活動を長期的な視点で展開している。

当初、本研究会では、様々な小型アプリケーションで実用化されつつあったリチウムイオン電池をターゲットとして取り組んできたが、リチウムイオン電池に加え、キャパシタ、固体電池、空気電池、ナトリウム系電池等、近年さらに注目を集める電力貯蔵デバイスや車載用電池の技術動向、ユーザーサイドの視点から見た場合の諸課題にも焦点を当てた活動を推進している。また、社会的に利用用途の拡大が期待される、再生可能エネルギー導入の進む、新しいエネルギー社会システムの構築を見据えた電池開発についても広く取り組んでいく。

2. 活動概要

2026年度は、第9期の2年目として、2050年カーボンニュートラル実現へ向け、日本経済の牽引役としてますます重要度が増している「自動車・蓄電池産業」のキーとなる新型二次電池に関する技術情報に加え、系統用蓄電池の需要の進展を注視し、「蓄電池産業戦略」の中間報告にも掲げられた次世代蓄電池の研究開発や製造能力の向上など、市場や産業界の動向も踏まえた情報交流を中心に活動を行う。

また、定置用、車載用の蓄電デバイスの標準化、安全性、耐久性、大容量化、リユース・リサイクル、国内外の電池開発の動向、次世代電池や全固体電池等の実用化を見据えた材料開発等の最新技術動向など会員の関心の高いテーマを引き続き取り上げ、社会のデジタルテクノロジーの使用による新たなビジネスプロセス等の創造（DX）とクリーンエネルギー中心への転換（GX）の推進に資する。

なお、定例研究会は年6回開催し、うち1回は公開シンポジウムとする。

回	開催	企画	内容
219	6月	見学会	見学候補：大阪大学研究室、他
220	7-8月	見学会	見学候補：東京海洋大学 純水素燃料電池船、他
221	8-11月	見学会	見学候補：リサイクル（蓄電池）、他
222	9-11月	見学会	見学候補：NEDO カーボンリサイクル実証研究拠点、他
223	12-1月	公開シンポジウム (来場+Web)	テーマ案：次世代電池と次世代技術
224	1-3月	ポスト電池討論会 (来場+Web)	電池討論会での発表から、より詳しく聞きたい内容をピックアップ

※開催月、企画内容については講師や見学先との調整で変更することがあります。

3. 体制

- 1) 名称 アドバンスト・バッテリー技術研究会 (Society of Advanced Battery Technologies)
- 2) 構成 92名 (産業界30法人54名、学・官界38名)
法人会員および個人会員をもって構成し、会長、顧問、幹事等の役員をおく。
また、会員外に必要な応じオブザーバを依頼し、他機関等との連携を深める。

<役員>

(敬称略・機関名五十音順)

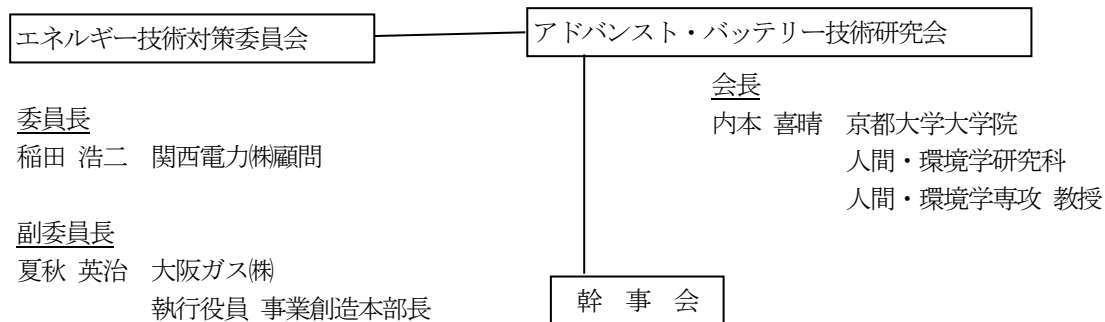
- 会長 内本 喜晴 京都大学 大学院 人間・環境学研究所 人間・環境学専攻 教授
- 幹事長 小林 弘典 (国研)産業技術総合研究所 エネルギー・環境領域 電池技術研究部門 総括研究主幹
- 幹事 阪本 浩規 大阪ガス(株) 先端技術研究所 フェロー
- 西口 博史 関西電力(株) ソリューション本部 開発部門 蓄電池事業グループ マネジャー
- 岡田 重人 九州大学 グリーンテクノロジー研究教育センター 特任教授 兼 名誉教授
- 倉谷健太郎 (国研)産業技術総合研究所 エネルギー・環境領域 電池技術研究部門 副研究部門長
- 佐野 光 (国研)産業技術総合研究所 エネルギー・環境領域 電池技術研究部門
分子応用エネルギーデバイス研究グループ 上級主任研究員
- 西川 平祐 (株)GSユアサ 研究開発センター 次世代電池開発部 担当部長
- 最相 圭司 パナソニックエナジー(株) 競争力革新統括室 技術戦略室 技術企画部 技術戦略課 課長
- 白神 昭 三菱電機(株) 先端技術総合研究所 電力変換システム技術部 蓄電・エネルギーグループ

(任期：第9期[2025～2027年度]、所属・役職は2026年4月現在)

3) 運営組織

- ①幹事会は事業の企画・立案ならびにその遂行にあたる。
- ②研究会には必要に応じ、分科会、ワーキンググループ等を設置し、諸活動の展開を図ることができる。

4) 体制図



(所属・役職は2026年4月現在)

4. 期 間

第9期活動期間（2025年4月～2028年3月）の2年目として、引き続き活発な活動を展開する。
（全体スケジュール）

活動期間	1992～ 2006	2007～ 2009	2010～ 2012	2013～ 2015	2016～ 2018	2019～ 2021	2022～ 2024	2025～ 2027
第1～2期	(15年間)							
第3期		(3年間)						
第4期			(3年間)					
第5期				(3年間)				
第6期					(3年間)			
第7期						(3年間)		
第8期							(3年間)	
第9期								(3年間)

5. 関連団体事業への協賛

- ①炭素材料学会 各種セミナー
 - ◇主 催：炭素材料学会
 - ◇特 典：当研究会会員は協賛学協会会員扱い
- ②電気化学セミナー・講習会
 - ◇主 催：電気化学会 関西支部
 - ◇特 典：当研究会会員は協賛学協会会員扱い
- ③電池討論会
 - ◇主 催：電気化学会 電池技術委員会
 - ◇特 典：当研究会会員は協賛団体会員扱い
- ④その他
会員へ有益な情報を随時提供する

6. 研究経費

産業界の協賛金（年額20万円／1社）を充てる。

7. 年間講演資料のとりまとめ

各研究会の配布資料を年間講演資料集として取りまとめ、会員向けにホームページ上で閲覧できるようにする。

8. 事務局（申し込み・問い合わせ先）

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 一般財団法人 大阪科学技術センター 技術振興部 八木 廉子、澤坂 洋
TEL:06-6443-5320、FAX:06-6443-5319 E-mail: yasuko.yagi@ostec.or.jp 以 上

<2023～2025 年度 活動実績>

2025 年度

回 (月日)	内 容
第 213 回 (6. 18) 【見学会】 東京理科大学野田キャンパス 居村研究室 (電気自動車向け走行中ワイヤレス給電等)	【ご対応者】 電気自動車向け走行中ワイヤレス給電等の概要紹介および見学 東京理科大学 創造理工学部電気電子情報工学科 准教授 居村 岳広 氏 講演 「【資源循環×EV×フュージョンエネルギー】LiSMIC が支える持続可能なリチウム供給戦略」 LiSTie(株) 代表取締役 CEO/CTO 星野 毅 氏 <div style="text-align: right;">[出席者 : 15 名]</div>
第 214 回 (7. 22) 【見学会】 ①EV モーターズ・ジャパン ゼロエミッション e-PARK ②福岡県リサイクル総合研究事業化センター ③太陽光パネルリサイクル工場	【ご対応者】 ① (株)EV モーターズ・ジャパン ゼロエミッション e-PARK の概要紹介および見学 (株) EV モーターズ・ジャパン代表取締役社長 佐藤 裕之 氏、他 2 名 ②公益財団法人 福岡県リサイクル総合研究事業化センターの概要紹介 「我が国のクリティカルメタルのサプライチェーン確保戦略」 センター長 中村 崇 氏 「福岡県における廃棄太陽光パネルの資源循環に向けた取組について」 プロジェクト推進班長・企画主幹 田尻 興保 氏 ③太陽光パネルリサイクル工場の概要紹介および見学 「太陽光パネルリサイクル事業のご紹介」 (株) 新菱 サーキュラーエコノミー事業部門 企画管理本部 企画部 佐藤 佑樹 氏 <div style="text-align: right;">[出席者 : 32 名]</div>
第 215 回 (9. 30) 【見学会】 大阪公立大学 全固体電池研究所	講演①「大阪公立大学における全固体電池の研究開発」 大阪公立大学 大学院工学研究科 応用化学分野 教授 全固体電池研究所 所長 林 晃敏 氏 講演②「固体電解質の量産化に向けて」 出光興産(株) 先進マテリアルカンパニー リチウム電池材料部 材料開発センター 材料設計グループ グループリーダー 門田 祥悟 氏 講演③「硫化物系全固体電池の開発と製品化」 マクセル(株) 新事業統括本部 担当本部長 山田 将之 氏 見学 「全固体電池研究所」 【ご対応者】 大阪公立大学 大学院工学研究科 教授/全固体電池研究所 所長 林 晃敏 氏 <div style="text-align: right;">[出席者 : 39 名]</div>
第 216 回 (11. 25～26) 【見学会】 ①大型蓄電池 (レドックスフロー電池) ②石狩湾洋上風力発電所 ③ゼロエミッション・データセンター石狩	【ご対応者】 ①北海道電力ネットワーク(株) 南早来変電所 大型蓄電池 (レドックスフロー電池) 設備 北海道電力ネットワーク(株) 香川氏、山下氏 他 ②石狩湾新港洋上風力発電所 (西埠頭、蓄電池設備) ・ JERA Nex bp Japan(合) 室長 鈴木氏、小林氏 ・ (株)グリーンパワーインベストメント 石狩湾新港洋上風力発電所 所長 石井氏、 所長補佐 宮本氏 ③京セラコミュニケーションシステム ゼロエミッション・データセンター石狩 京セラコミュニケーションシステム(株) 部長 尾方氏、副部長 高田氏、環境営業統括部 加藤氏 ※スマートエネルギー/コミュニティ研究会と合同開催 <div style="text-align: right;">[出席者 : 合計 14 名(単独 10 名)]</div>

<p>第 217 回 (1. 28)</p> <p>【公開シンポジウム】 『電池産業の未来戦略：市場変革・人材育成・次世代技術』</p> <p>大阪科学技術センター 401 号室、オンライン</p>	<p>講演①「蓄電池産業戦略と近畿経済産業局の取組について」 近畿経済産業局 地域経済部 次世代産業・情報政策課 課長 長見 康弘 氏</p> <p>講演②「BEV とバッテリーのグローバル化」 KPMG コンサルティング(株) 自動車セクター プリンシパル 轟木 光 氏</p> <p>講演③「車載用リチウム金属電池の最新の開発状況」 QuantumScape Japan 合同会社 ディレクター 武内 良介 氏</p> <p>講演④「電極乾燥工程で消費電力を半減するレーザー乾燥装置」 武蔵ワイヤード(株) CTO 柚 直彦 氏</p> <p>講演⑤「リチウムイオン電池エコシステム構築に向けた LiB 診断サービスの取組み」 ゴイク電池(株) 専務取締役 田畑 英志 氏</p> <p>講演⑥「低環境負荷で極限環境に耐える次世代リチウムイオン電池の開発」 (株)アイ・エレクトロライト 代表取締役 CEO 石川 正司 氏</p> <p style="text-align: right;">[出席者：70 名]</p>
<p>第 218 回 (2. 24)</p> <p>【講演会】 『ポスト電池討論会：リチウム電池の最新研究』</p> <p>大阪科学技術センター 401 号室、オンライン</p>	<p>講演①「充放電サイクルによる Monolithic High-Ni NMC 正極の容量低下メカニズム解析」 日産自動車(株) 総合研究所 EV システム研究所 小野 正樹 氏</p> <p>講演②「カーボンナノチューブパウダー分散体の開発」 山陽色素(株) 技術開発部 新事業開発グループ 主任研究員 植村 由 氏</p> <p>講演③「リチウム金属の溶解析出反応の均質化に向けた界面制御システムの検証」 Enpower Japan(株) シニアマネージャー 鈴木 克俊 氏</p> <p>講演④「リチウムイオン電池の不均一劣化に対する非破壊検知技術についての研究」 (株)日立製作所 研究開発グループ 上田 克 氏</p> <p style="text-align: right;">[出席者：45 名]</p>

2024 年度

回 (月日)	内 容
<p>第 207 回 (7. 29)</p> <p>『見学会』</p> <p>・NanoTerasu (東北大学青葉山新キャンパス内)</p> <p>・西仙台変電所</p>	<p>概要紹介および見学 <3GeV 高輝度放射光施設 NanoTerasu> ご対応者：東北大学 研究推進部ナノテラス共創推進課 特任教授 渡邊氏 渉外係 高林氏</p> <p><西仙台変電所> ご対応者：東北電力ネットワーク 仙台電力センター 変電 2 課 担当課長 阿部氏、笹山氏</p> <p style="text-align: right;">[出席者：24 名]</p>
<p>第 208 回 (10. 15)</p> <p>『見学会』</p> <p>産業技術総合研究所 (中部センター)</p>	<p>講演①「産総研中部センターの概要紹介」 国立研究開発法人産業技術総合研究所 中部センター 所長 松原 一郎 氏</p> <p>講演②「マテリアル・プロセスイノベーション (MPI) プラットフォームの概要とプロセス・インフォマティクスの研究事例紹介」 国立研究開発法人産業技術総合研究所 中部センター 所長 松原 一郎 氏</p> <p>講演③「Li 伝導性固体電解質 LLZO-MgSr 材料と固体電池の宇宙実証試験」 日本特殊陶業株式会社 ビジネスインプリメンテーション本部 ビジネスマネジメント部 獅子原 大介 氏</p> <p>見学「MPI 装置、中部センター内の展示物」</p> <p style="text-align: right;">[出席者：8 名]</p>
<p>第 209 回 (10. 31)</p> <p>『見学会』</p> <p>・堀場製作所 びわこ工場</p> <p>・ENEOS EV バッテリー全自動交換ステーション</p>	<p>【ご対応者】 <堀場製作所>：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー・環境本部 エネルギー・環境技術推進室 兼 新エネルギーソリューション部 シニアマイスター 花木 保成 氏 ・エネルギー・環境本部 エネルギー・環境技術推進室 Customer Solutions チーム チームリーダー マネジャー 松本 正也 氏 ・エネルギー・環境本部 エネルギー・環境システムセンター 新エネルギーソリューション部 Application Development チーム チームリーダー 畠山 大 氏

	<p><ENEOS ホールディングス> : 未来事業推進部 事業推進第3グループ チームリーダー 担当マネージャー 荒川 亮 氏</p> <p style="text-align: right;">[出席者: 20名]</p>
<p>第210回 (12.25) 『公開シンポジウム』</p> <p>大阪科学技術センター 700号室、オンライン</p>	<p>講演①「BYDの最新動向と日本での取組」 ビーワイディーオートジャパン株式会社 代表取締役社長/President 東福寺 厚樹 氏</p> <p>講演②「EVシフトの行方 ～今後、日本の自動車産業はどう向き合うべきか～」 株式会社 日本電動化研究所 代表取締役 和田 憲一郎 氏</p> <p>講演③「日産自動車の全固体電池開発の取り組み」 日産自動車株式会社 相原 雄一 氏</p> <p>講演④「宇宙機開発における蓄電池への期待」 宇宙航空研究開発機構(JAXA) 研究開発部門 第一研究ユニット 内藤 均 氏</p> <p>講演⑤「鉄道事業者のCO2排出量削減に向けた取り組み」 東海旅客鉄道株式会社 総合技術本部 技術開発部 グループリーダー山田 和弘 氏</p> <p style="text-align: right;">[出席者: 100名]</p>
<p>第211回 (2.13) 『電池材料開発の最新動向』</p> <p>大阪科学技術センター 404号室、オンライン</p>	<p>講演①「車載用LiB市場・LiB部材市場の現状と将来展望」 株式会社矢野経済研究所 インダストリアルテクノロジーユニット デバイス&マシナリー産業グループ 田中 善章 氏</p> <p>講演②「大阪ソーダの電池材料開発への取組み～GI基金事業～」 株式会社 大阪ソーダ 事業開発本部 事業開発本部長 北川 紀樹 氏</p> <p>講演③「リチウムイオン電池電極の乾式成膜プロセス」 株式会社豊田中央研究所 スラリー研究領域 代永 彩夏 氏</p> <p>講演④「リチウムイオン電池向けドライプロセスの取り組みについて」 ダイキン工業株式会社 化学事業部 商品開発部 電池材料チーム チームリーダー 主任技師 寺田 純平 氏</p> <p style="text-align: right;">[出席者: 45名]</p>
<p>第212回 (3.25) 『ポスト電池討論会』</p> <p>大阪科学技術センター401 号室、オンライン</p>	<p>講演①「硫化物系全固体LIBの耐久性能に及ぼす拘束圧の影響」 技術研究組合 リチウムイオン電池材料評価研究センター(LIBTEC) 委託事業部 第4研究部 杉浦 晃一 氏</p> <p>講演②「300Wh/kg LFP リチウム金属電池の開発と応用」 国軒高科日本株式会社 先端技術部門 マネージャー 羅 頤佳 (Xianjia Luo) 氏</p> <p>講演③「リチウム電池用4V級フッ化鉄ベース正極材料の開発」 株式会社本田技術研究所 先進技術研究所 デバイスプロセスドメイン 計 賢 氏</p> <p>講演④「車載用リチウムイオン電池のDirect Cathode Recycle検証 -カーボンニュートラルと資源循環社会を目指して-」 日産自動車株式会社 総合研究所 EVシステム研究所 エキスパートリーダー 大間 敦史 氏</p> <p style="text-align: right;">[出席者: 45名]</p>

2023年度

回 (月日)	内 容
<p>第201回 (5.18) 『見学会』</p> <p>東京工業大学 すがかけ台キャンパス</p>	<p>講演①「MIを用いた新規イオン導電体の開発」 東京工業大学 科学技術創成研究院 准教授 鈴木 耕太 氏</p> <p>見学①「全固体電池研究センター」 固体電解質の合成・評価装置、全固体電池/薄膜型全固体電池の作製・評価装置 等</p> <p>講演②「機械学習・ロボット・データを活用した電池材料研究」 東京工業大学 物質理工学院 特任教授 東京大学 大学院理学系研究科 化学専攻 教授 一杉 太郎 氏</p> <p>見学②「一杉先生 研究室設備」 自動・自律物質合成システム 等</p> <p style="text-align: right;">[出席者: 26名]</p>

<p>第202回 (7.24) 『見学会』</p> <p>(株)JERA 四日市火力発電所</p>	<p>講演① 「リユースした電動車用バッテリーの電力システムにおける利活用について」 (株)JERA 0&M・エンジニアリング戦略統括部 技術経営戦略部 技術開発ユニット ユニット長 尾崎 亮一 氏 見学「四日市火力発電所」 講演② 「アグリゲーションビジネスの現状と課題」 (株)エナリス 事業企画部 本部長 平尾 宏明 氏</p> <p>[出席者：16名]</p>
<p>第203回 (11.9) 『電池関係、次世代電池、 海外の取組み』</p> <p>大阪科学技術センター 403号室、オンライン</p>	<p>講演① 「ナトリウムイオン電池の材料研究と最新動向」 東京理科大学 理学部 応用化学科 教授 駒場 慎一 氏 講演② 「最新EVの電池材料技術と電池構造」 ATTACCATO 合同会社 社長 向井 孝志 氏 講演③ 「台湾の電池開発状況について」 Battery Research Center of Green Energy, Ming Chi University of Technology 壽 雅史 氏</p> <p>講演④ 「インターカレーションにおける酸化還元化学」 CNRS researcher - Physics of Materials and Nanomaterials (PMN) team, Jean Rouxel Institute of Materials in Nantes (IMN) 佐々木 俊輔 氏</p> <p>[出席者：43名]</p>
<p>第204回 (12.14) 『見学会』</p> <p>日本リサイクルセンター(株) 中島事業場</p>	<p>見学「日本リサイクルセンター株式会社 中島事業場」 見学対応等：日本リサイクルセンター株式会社 人事総務部 課長 和久 伸丈 様ほか</p> <p>[出席者：24名]</p>
<p>第205回 (1.25) 『公開シンポジウム』</p> <p>大阪科学技術センター 401号室、オンライン</p>	<p>講演① 「中国のEVシフトの最前線」 中央大学 兼任教員 上海工程技術大学 客員教授 湯 進 (タン ジン) 氏 講演② 「EV化がもたらす100年に一度の大変革」 オートインサイト株式会社 代表 鶴原 吉郎 氏 講演③ 「ハイブリッドスーパーキャパシタの最新動向とその役割」 武蔵エナジーソリューションズ株式会社 安東 信雄 氏 講演④ 「東京電力グループの蓄電池を活用したカーボンニュートラルへの取組 ～系統活用、需要家活用からまちづくりへ～」 東京電力ホールディングス株式会社 エリアエネルギーイノベーション事業室 兼 経営技術戦略研究所 (TRI) 経営戦略調査室 兼 TRI 事業開発推進室 電化開発プロジェクトG スペシャリスト (蓄電池活用) 田代 洋一郎 氏 講演⑤ 「車載用リチウムイオン電池：リユース/リサイクルの現状と課題」 山口大学大学院 技術経営研究科 教授 福代 和宏 氏</p> <p>[出席者：67名]</p>
<p>第206回 (3.22) 『ポスト電池討論会』</p> <p>大阪科学技術センター 404号室、オンライン</p>	<p>講演① 「LFP系リチウムイオン電池の不均一反応による容量低下」 東京電力HD 経営技術戦略研究所 技術開発部 エネルギーソリューションエリア 庄野 久実 氏 講演② 「逆蛍石型鉄酸化物正極材料の酸素レドックス利用に向けた材料設計」 北海道大学 大学院理学研究院 化学部門 准教授 小林 弘明 氏 講演③ 「フッ素化エーテルのリチウムイオン電池への適用」 ダイキン工業株式会社 化学事業部 商品開発部 小林 奈緒 氏 講演④ 「X線CT法による全固体電池電極・電解質界面の接合性解析」 立命館大学 生命科学部応用化学科 教授 折笠 有基 氏</p> <p>[出席者：54名]</p>

年 月 日

アドバンスト・バッテリー技術研究会 参加申込書

一般財団法人 大阪科学技術センター
エネルギー技術対策委員会 委員長 稲田 浩二 様+

アドバンスト・バッテリー技術研究会（エネルギー技術対策委員会事業）の趣旨に賛同し、下記により参加申込を致します。

記

- 研究会委員（2名以内）を登録します。

会社名・機関名 _____

①窓口委員（貴社への連絡窓口を担当いただける方をご記入下さい）

ふりがな

・氏 名 _____

・所属・役職名 _____

・住 所 〒 _____

・TEL / FAX _____

・E-mail _____

②委 員

ふりがな

・氏 名 _____

・所属・役職名 _____

・住 所 〒 _____

・TEL / FAX _____

・E-mail _____

- 協賛金を拠出します。

協賛金 金 20万円也（支払予定：____月ごろ）

※お申込みに関する情報については当財団の事業活動のご案内、ご連絡を差し上げる目的以外には使用致しません。

※特にお申出のない限り、継続参加の取り扱いとさせていただきますのでご了承下さい。

※当財団の各委員会・研究会等の委員名簿等については、当財団の「プライバシーポリシー」に基づき、適切に取り扱います。詳しくは、下記当財団ホームページをご覧ください。

⇒ https://www.ostec.or.jp/ostec_wp/pdf/privacy.pdf